



食料安全保障・栄養に関するG7国際シンポジウム

背景・目的:

現在、全世界で約3人に1人が栄養不良(飢餓、栄養過多、特定栄養素の不足を含む)の状況にあります。政府や市民社会による農業・栄養分野での取組や協力、民間企業による社会貢献も達成できるビジネスチャンスとしての取組などが進んでいます。

2016年は日本でG7伊勢志摩サミットが開催され、さらに「アディスアベバ行動目標」を含む「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の取組開始の観点や、気候変動に関するパリ協定の採択、またブラジルで開催された「成長のための栄養」イベントやケニアで開催されたTICAD VIから生じた機会を踏まえ、食料安全保障と栄養における国際的な取組を進める上で、重要な年となります。

本国際シンポジウムは、G7伊勢志摩サミットのフォローアップとして、同サミットで発表した「食料安全保障と栄養に関するG7行動ビジョン」に関するパネル・ディスカッションを実施し、食料安全保障と栄養に関する議論の成果を発信することを目的としています。加えて、様々な参加者が知識や経験を共有して議論し、多様なステークホルダーの取組を結集することにより、2030アジェンダを達成するための国際的な努力を加速させることを目指しています。

プログラム概要:

10月25日 **開会挨拶** (安倍昭恵内閣総理大臣夫人:TBC)

基調講演 (外務省, FAO)

パネル・ディスカッション

- 1) 農業及びフードシステムにおける女性のエンパワーメント
- 2) 人間中心のアプローチを通じた栄養改善
ランチ・レセプション: 基調講演 (味の素)
- 3) 農業及びフードシステムにおける持続可能性及び強靱性の確保

10月26日 4) 実施強化のためのデータ向上

- 5) より効果的で持続可能な資金動員に向けて
- 6) あらゆるステークホルダーの説明責任の強化

参加費: 無料

会議言語: 日本語 / 英語 (同時通訳あり)

参加登録: 以下の項目につき、G7FSN@mofa.go.jp へ送信してください。

- 1) 氏名 (+ローマ字記入)
- 2) 所属 (会社名・団体名+役職)
- 3) Eメールアドレス
- 4) 電話番号

日時:

10月25日(火) 9:30-17:00

10月26日(水) 9:30-15:30

会場:

国連大学 5階

エリザベス・ローズ国際会議場

参加予定者:

G7政府関係者、開発途上国関係者、
国際機関、研究機関、民間企業、
市民社会団体、慈善団体ほか

*提出いただいた個人情報は、本シンポジウムの参加登録及び事後アンケート調査以外の目的で利用することはございません。また、本シンポジウム終了後には適切に破棄いたします。



外務省

Ministry of Foreign Affairs of Japan